

# 2018情報通信月間参加行事 報告書

行事ID	Ic005M	行事名	四国情報通信懇談会総会記念講演会	
行事形式	講演会	主催団体	四国情報通信懇談会、総務省四国総合通信局	
開催日	2018/4/27		開催場所	松山全日空ホテル 本館4階ダイヤモンドボールルーム
行事参加者数	120		WebサイトURL	
行事実施概要・アピール等				

演題:「IoT/AI活用時代のビジネス創造」

講師:一般社団法人情報通信技術委員会事務局長(元総務省大臣官房審議官) 稲田 修一氏

講演概要:

【IoT/BD/AIの台頭で、今、社会で何が起きているのか】

IoT/BD(ビッグデータ)/AIの台頭により、ビジネスの世界にパラダイムシフト(創造的破壊)が起きており、既存ビジネスが生き残るには、新たな価値を創造することが必要。

【IoT/BD/AI活用を進める中で分かること】

わが国のIoT/BD/AI活用の実態として、データ収集に多大な労力が必要であることを理解せず、ICTベンダーに丸投げすれば新たな価値が創造できると誤解している企業が多数。企業自身が自社の課題解決に向けてデータを収集し、それを分析する組織力を身につけることが重要。ICTベンダーはそのサポート役。

【パラダイムシフトへの対応法】

IoT/BD/AI活用時代のパラダイムシフトに対応するには、「事前に綿密に検討してから始める」のではなく、「走りながら考える」ことが必要であり、そのために「デザイン思考のプロセス」を導入することが有効。

【まとめ】

オペレーションと異なり、イノベーションは先読みが困難。失敗を恐れずに挑戦することが不可欠。マネジメントの役割は、挑戦に向けたリーダーシップと失敗を許容する環境や風土の実現。

←ロードバース...セル内で改行する時はAltを押しながらEnterを押してください。

